



令和5年度

福井市本郷小学校スクールプラン

【保護者・地域の願い】

- ・本郷地区の良さを知り、故郷を大切にする。
- ・思いやりや優しさを持つ。
- ・元気なあいさつができる。

【福井市学校教育目標】

郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成

【学校教育目標】

豊かな心を持ち、自ら学んで、たくましく生きる子の育成

【めざす児童像】

- 強い子：心身ともに健康で最後までやりぬく子
 - 考える子：自ら進んで学ぼうとする子
 - 助け合う子：思いやりの心を持って協力する子
- 本郷っ子スローガン「元気・やる気・優気」

【教師の願い】

- ・持ち前の純朴さや明るさを大切にする。
- ・予測困難なこれからの社会をたくましく生き抜く自信と誇りを身につける。

【川西中学校区重点テーマ】

地域とともに主体的に取り組む園児・児童・生徒の育成

【福井市学校教育方針】

学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にした学校づくり～

【研究主題】

互いにつながり合い、主体的に学ぶ子の育成
～子供同士が学び合う学習活動の工夫～

重点目標

わかる授業づくり

- ・子供が主役となる授業への転換。
- ・学びに向かう力を高めるための課題設定。
- ・子供たち同士の対話や全体交流を柱とした授業づくり。
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体化。
- ・子供の「学び」に焦点を当てた学習活動の実現。
- ・学びの成果を実感させ、次時につなげる「振り返り」活動。
- ・ICT機器の効果的な活用。

信頼される学校

- ・学校の「見える化」を推進し、家庭や地域に信頼され評価される学校づくり。
- ・児童や保護者と向き合い連携を密にできる、柔軟な教職員。

心身ともに健康な子の育成

- ・安全教育、健康教育と感染防止教育の推進。
- ・危機管理体制の整備。
- ・他を思いやる優しい児童。
- ・自己存在感、自己肯定感を高める活動の推進。

具体的な取組

- ◎交通事故、学校事故、自然災害対応等防災危機回避意識の醸成。
- 日常及び行事等における綿密な感染症対策の実施。
- 児童および保護者対象いじめアンケートの実施。
- 思いやりの心や社会性を育む、ファミリー班縦割り活動の推進。

- ◎「といてみたい」「考えてみたい」と子供たちが自分の問題として捉えることのできる課題提示の工夫。
- ◎子供同士で学び合うことのできる学習活動の工夫。
- ◎子供の知的好奇心をくすぐり、学んだことを生かせる授業展開の工夫。
- ◎授業の見通しを持ち、主体的に学ぶことができるよう、授業のめあて・流れをカードに明示。
- ◎自分の考えを伝え合う場としての朝のスピーチ活動を月2回実施。
- 地域資源を生かした体験的な教育課程の作成。
- ICT活用に関する研修受講の推奨と研修で得られた情報の共有。
- 授業研究会を含めた月1回以上の校内研修。

- ◎日常の学校生活の様子をHPに公開する等、家庭・地域に向けた、積極的継続的な情報発信。
- ◎保護者目線に立った児童理解と対応。
- 地域資源を活用した様々な学習活動。
- 「本郷スタンダード」を基本とした、家庭における基本的生活習慣育成の共有。
- 家庭学習の定着とおうち読書の推進。

- ・避難訓練時に、「おかしも」を守って避難できたと答える児童100%。
- ・自分を守り、他人も守るための感染症対策ができたと答える児童100%。
- ・毎日学校へ通うのが楽しいと答える児童90%。
- ・将来の夢や目標を持っていると答える児童90%。
- ・自分にはよいところがあると答える児童90%。

数値目標

- ・児童が積極的に発言するような授業づくりを工夫していると答える教師100%
- ・タブレットやデジタル教材などを活用した授業を週1回以上実践できたと答える教師100%。
- ・先生の話や友だちの発表を集中して聞いたり、自分の考えを進んで発表したりしていると答える児童90%。
- ・人と関わり合いながら、相手の意見をよく聞いたり、自分の意見を伝えたりしていると答える児童90%。
- ・授業に進んで取り組んでいると答える児童90%。

- ・学校は保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えてしていると答える保護者95%。
- ・学校は子どもたちを大切に温かく指導していると答える保護者95%。
- ・学校へ気軽に相談できると答える保護者90%。

【業務改善の推進、教職員の適正な勤務時間を保守する取組】

- 校内会議80分以内(ウィズイン80)の徹底。
- 努力目標「月残業45時間以内」の実現。
- マスト終礼(必要時のみ終礼開催)の実施。
- ワーク・ライフ・バランスの相乗効果の意味づけ。